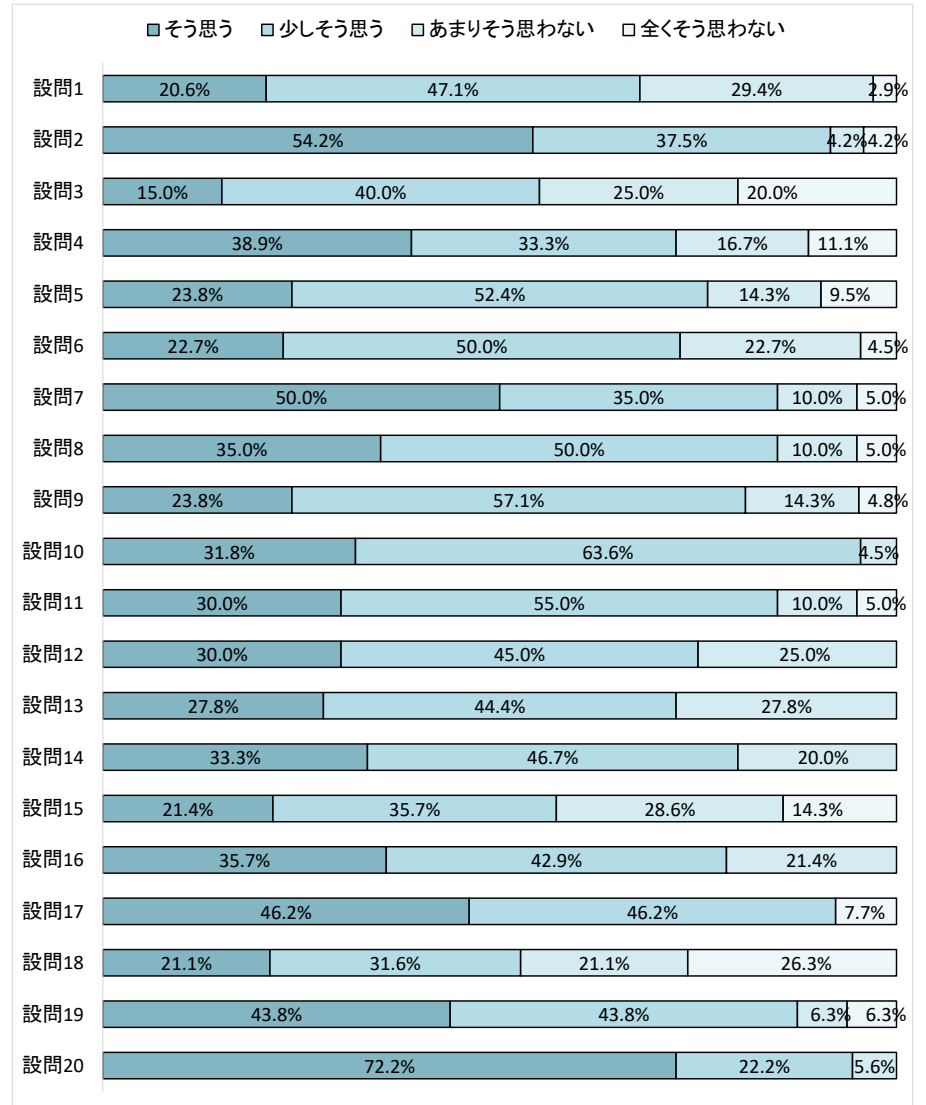


令和7年度 学校評価アンケート【教員用】

本年度の重点目標	1 規範意識の醸成
	2 実践的な職業教育の充実
	3 特別活動の充実
	4 ワークライフバランスに配慮した職場環境づくり

全員が回答

担当	重点目標	No	質問
教頭	・多忙化解消	1	業務の精選や業務の効率化等を図るなど、多忙化解消に努めることができた。
総務部	・防災体制の充実	2	避難訓練と集団下校訓練を適切に実施することができた。
	・広報活動の充実	3	行事の記録写真を保存し、ホームページの更新頻度をあげることができた。
	・PTA活動の充実	4	PTA役員・理事と連携を密にして、専門委員会が活発に活動できるようにすることができた。
教務部	・教育活動の安定化	5	情報機器に関するセキュリティポリシーを理解し、来年度に向けBYODの利用を念頭に生徒に対し、情報モラルとセキュリティ教育に力を入れることができた。
	・校内諸規定の見直しと点検・整備	6	授業内容や成績処理などの業務プロセスの把握を行い、非効率な部分を特定して業務改善を図ることができた。
生徒指導部	・安心・安全な学校づくり	7	生徒や保護者にとって安心で安全な学校にするために、交通安全指導や防犯対策により一層、力を注ぐことができた。
	・基本的な生活習慣の確立	8	①挨拶②欠席・遅刻・早退、時間を守る③食生活を含む健康管理④整理整頓(脚下照顧)⑤身だしなみ全般⑥モラル・ルールを守る等、生徒の成長を第一に向上を促すことができた。
	・人間形成の確立	9	高校生としてあるべき人間像を理解させ、卒業後に豊かな人生を歩めるよう生徒一人ひとりにあった人間形成を行うことができた。
	・道徳教育の充実	10	自他の命を大切に、人間としての在り方、生き方を考え、自立した人間になるための基盤を作ることができた。
	・いじめの根絶と情報モラルの知識向上	11	いじめや嫌がらせの根絶を目指し、情報モラルを含めたSNS等に関わる諸問題に対する、未然防止、早期発見、早期対応、早期解決を目指すことができた。
保健厚生部	・自律的な健康管理能力の向上	12	生徒の自律的な健康管理を促すため、教員の観察能力の向上させ、生徒に適切に働きかけることができた。
	・講話や配布物などを通じて、生徒、保護者、職員の健康意識の向上を図ることができた。	13	講話や配布物などを通じて、生徒、保護者、職員の健康意識の向上を図ることができた。
進路指導部	・組織的な教育相談・特別支援教育の充実	14	相談係会・教育相談委員会が学年等と連携し、柔軟な教育相談活動を行い、支援の必要な生徒には特別支援教育委員会を中心として対応することができた。
	・基礎学力の向上	15	長期休業中、連休などを有効活用し、一般常識を中心に基礎学力の向上をめざし、問題集を購入し学習させることができた。
特別活動部	・進路情報の提供	16	進路説明会、保護者会などを通して、家庭への進路情報の提供を充実することができた。
	・インターンシップの充実	17	インターンシップについて、進路実現に向けた意義のある体験となるよう事前、事後指導をしっかりと行うことができた。
特別活動部	・部活動の充実	18	部活動に参加することの意義を伝達し、継続することの大切さを伝えるために、Kochino Timesやホームページを活用し部活動に取り組んでいる様子が発信できた。
	・生徒会活動の充実	19	生徒会執行部を中心に、挨拶運動や情報発信を行ったり、委員会活動を通じて生徒と連携を図り主体的な活動を促すことができた。
	・安全に配慮した行事の実施	20	体育祭等で、体調不良者を早めに休ませるなど、熱中症対策に最新の注意を払うことができた。



所属する学年に関する質問のみ回答

第1学年	・基本的な生活習慣の確立や生活態度の確立	21	規則正しい生活を心掛ける、安易な欠席・遅刻・早退をしないように意識できるよう促すことができた。また、礼儀やマナーを大切に、自ら進んで挨拶できるようになった。
	・基礎学力の向上	22	毎回の授業を大切に、基礎学力を身につけることができた。
	・部活動や行事への積極的参加	23	継続的に物事に取り組む姿勢、自ら集団にかかわろうとする姿勢を大切にすることができた。
第2学年	・基礎学力の向上	24	進路の実現を見据えた基礎学力・生活習慣を身につけることができた。
	・進路研究の充実	25	基礎学力診断テストや各種検定の受験、進路模試などを通じて、生徒自身の学力伸長を図ることができた。
		26	年間を通じて進路研究に取り組み、生徒の意識を高めることができた。
	・落ち着いた学校生活の構築	27	身だしなみや挨拶について呼びかけをこまめにし、雰囲気・環境づくりに取り組むことができた。
第3学年	・進路指導の充実、連携と進路希望の実現	28	社会に出ることを意識するよう促し、礼節、欠席・遅刻・早退を減らすこと、提出期限を守ることの大切さを指導できた。また、学校生活の中での他者との関わりを通して、コミュニケーション能力の育成を目指すことができた。
	・社会性の涵養	29	最上級生として行事に積極的に参加し、学校全体を盛り上げる指導ができた。また、部活動では3年間継続してきたことをやり遂げ、悔いを残さないように指導できた。

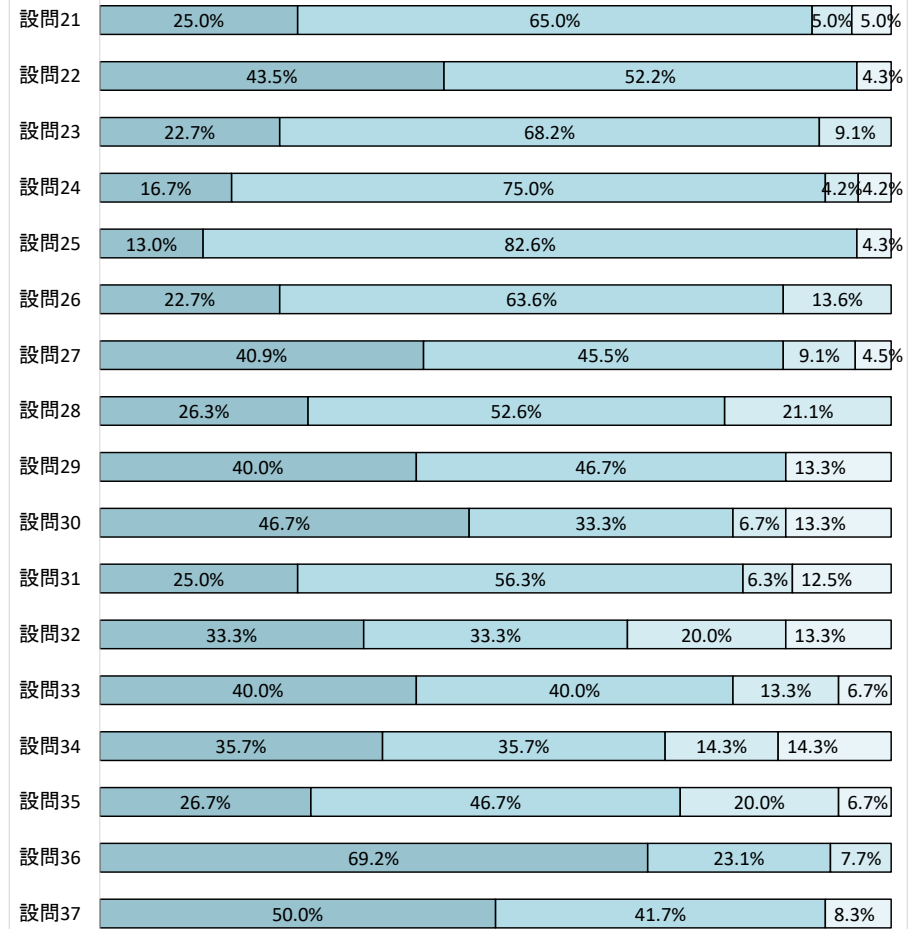
所属する学科に関する質問のみ回答

・地域ビジネス科	・学科コースの特長を踏まえた取組の推進	30	各コースで学んだ内容を実践する場として、企業とコラボした商品開発や長期的・継続的インターンシップの実施、また外部講師の招聘による講義において高度資格取得を目指すことができた。
	・専門的知識の習得と資格取得	31	チームティーチングによる習熟度別の授業展開や補習を充実し、生徒の資格取得に向けてより丁寧な学習指導を行うことができた。また、社会に出るにあたり資格を取得するメリットの理解を促し、生徒一人ひとりが学習への意欲向上に繋げることができた。
	・広報宣伝活動の充実	32	本校HPやインスタグラムの更新頻度の向上、体験入学や学校説明会など内容一新を図ることができた。また、中学校訪問において、時節ごとの地域ビジネス科・ITビジネス科の取組情報を発信することができた。
生活文化科	・専門的な知識や技術の習得と資格取得	33	外部講師の活用や個に応じた指導を充実させ、各コースの専門性を高めさせることができた。また、各種の資格取得やコンクール等に挑戦するよう促すことができた。
	・新学習指導要領に応じた学習内容の把握と評価の仕方・方法の検討	34	アントレプレナーシップ教育を進めるとともに、実践的な学びの機会を増やし、地域連携を充実させることができた。
	・学科行事および学校家庭クラブ活動の充実	35	年間を通じて、学科行事や家庭クラブ活動への効果的な指導を行うことができた。
福祉科	・カリキュラム・ポリシーに基づいた教育活動を充実させる。	36	個に応じた指導を行い、全員の介護福祉士国家資格取得を目指す。「課題解決型学習」を推進し、課題解決能力や協働的態度を育成し、ペアやグループでの活動など対話的な学びを重視する。また、介護実習の学びを充実させ、質の高い専門的知識・技術の習得を目指し、地域を学びのフィールドとし、地域福祉の推進を目指すことができた。
	・学科の魅力の効果的に発信すること	37	Instagramや学科ブログを活用して福祉科の情報をリアルタイムに発信することができた。また、体験入学や学校見学のプログラムを再考したり、ホームページ掲載内容を見直すことができた。

全員が回答

38	先生方の古知野高校に対する満足度は何%ですか。(学びの環境、働く環境など総合的に考えて)
----	--

□ そう思う □ 少しそう思う □ あまりそう思わない □ 全くそう思わない



質問41 古知野高校に対する満足度(学びの環境、働く環境など総合的に考えて)63.82% (令和6年度53%)